



## 農作業メモ



### ○田植え

早い地区では、3月下旬より田植えが始まります。土壤改良剤を未投入のほ場では、早めに投入し地力の増進を図りましょう。また、苗は田植えの5日前位から育苗ハウスのサイドビニールを下げて、外気に充分ならしましょう。(遅霜の場合は注意して下さい。)

- ①田植えの適期は4月5日から15日頃です。
- ②植え付け本数は、坪当たり55～60株程度、1株の苗数は3～5本が標準となります。苗数が多くなると過繁茂の原因となり、倒伏や病害虫が発生しやすくなりますので注意しましょう。田植機の整備・調整は事前に行ってください。
- ③植え付けの深さは活着や分けつ等に大きく影響しますので、2～3cmを目安としましょう。

### ○水管理

暖かい日中は浅水にしますが、活着するまでは朝晩冷え込むことがありますので、気象情報に注意しながら、新しい根が出るまでは深水にしましょう。活着後は、浅水管理で水温・地温の上昇を図り、分けつの促進に努めて下さい。

### ○病害虫・雑草等対策

初期では、イネミズゾウムシや葉いもち病が防除の中心とな

ります。田植え前に必ず箱施薬(ブーン・パディート箱処理剤)を散布し、むらがないように施用しましょう。1箱当たりの散布量は50gとなります。

※除草剤と間違えて散布しないよう注意して下さい。

移植後の活着を促進する為に、活着肥としての硫安(7kg/10a)の散布を行って下さい。

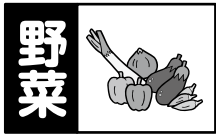
尚、作業省力の為にJAでは「ハイパーCDU」の使用も可能です。この場合は、田植時の箱苗に100gをむらなく散布して下さい。

除草剤は、プライオリティ剤を散布して下さい。田植え後5日から15日に散布し、その後は水を張った状態を5日程度保って下さい。水の掛け流しや、土の表面が見えるようなほ場は、除草の効果が落ちますので注意して下さい。

尚、藻類対策として(モゲトン粒剤)又は、中後期雑草対策の除草剤第2回目(アトリ粒剤)は、どちらか一方の除草剤を選択して使用して下さい。

※箱施薬や除草剤の使用方法は、早期水稻耕種基準に記載しています。

※浅水状態で土の表面が見える水田は、荒起こし等で土の移動を行い均平にしましょう。



## 購入苗の上手な見分け方、使い方



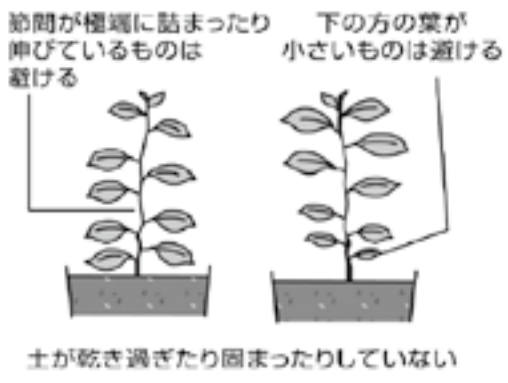
春の園芸シーズンに入ると多くの野菜苗が売られます。一般的に果菜類は高温好みで育苗に長い日数がかかり管理も難しいものです。春植えの家庭菜園では、購入苗で栽培を行う事をお勧めします。

多くの収穫を得る為にも、良い苗をいかに見極めるかという事が重要です。

ポイントは、下記の図のように『葉の大きさ』『葉色と厚さ』『茎の伸び具合』『つぼみの付き具合』『病害がない事』などです。

接ぎ木苗では接合部がきれいに合って、傷口が癒えているか確かめましょう。ウリ類では双葉がしっかりついている事も重要です。

また、小苗しか手に入らない場合は、購入してからひと回り大きな鉢に移し替え管理を十分に行い大苗に仕上げ、十分に暖かくなった畑に植付けましょう。





## 3月、4月の柑橘園管理



**果樹**  
**原口 悠貴**  
 下島営農指導センター  
 080-2725-7775

### 1. 病害虫防除

対象病害虫	品 種	農薬名	希釈 倍数	散布液量 (100ℓの場合)	備 考
かいよう病	温州・中晩柑	IC ボルドー66D	60 倍	1,666 g (ml)	発芽前
ミカンハダニ	中晩柑	ハーベストオイル	80 倍	1,250 g (ml)	発芽前
そ う か 病	温州	デランフロアブル	1,000 倍	100ml	4月上旬 (発芽3mm頃)
そ う か 病	ポンカン	デランフロアブル	1,000 倍	100ml	4月上旬 (発芽3mm頃)
そ う か 病	ポンカン	デランフロアブル	1,000 倍	100ml	4月中旬～下旬
かいよう病	中晩柑	コサイド3000 加用 クレフノン	2,000 倍 200 倍	50 g 500 g	開花前 (かいよう病の発生が心配される園)

※かいよう病防除はムッシュボルドー (DF) 500倍も使用可。(散布液量100ℓの場合200g)

※そうか病多発園では、再度デラン(F) 1,000倍を使用。※そうか病対策でフロンサイド(SC) 2,000倍も使用可。

### 2. 施 肥

栽培タイプ	肥料名	品種名	施肥時期	10 a当たり
省カタイプ	新アグリロング 28号	河内晩柑・清見・ 甘夏・パール柑	3月上旬	5袋
		デコポン		5袋
全タイプ	硫マグエース	極早生・早生・ 中熟・普通	3月中旬	2袋
通常タイプ	果樹専用 スペシャル	デコポン	4月上旬	5袋
		河内晩柑・清見・ 甘夏・パール柑		4袋
		ポンカン		8袋
		極早生	4月中旬	6袋
		早生・中熟・普通		8袋

### 3. 葉面散布

まずは樹勢を回復し、その後花芽分化促進を行いましょう。

目的	薬 剤 名	希釈 倍数	備 考
樹勢回復	尿素又は アミノジューシー N14 又は神協スピ リッツ	500 倍	いずれかを 使用ください
花芽分化 促進	ファームント 又は ジューシーエース	500 倍	いずれかを 使用ください
緑化促進	葉面マグ	200 倍	

## 和5年度 天草地域中晩柑果実品評会 受賞者発表!

2月16日に、令和5年度天草地域中晩柑果実品評会が開催されました。この大会は、天草活性化協議会果樹部会と熊本県果樹技術者連盟天草支部が主催し、天草地区3JAやJA熊本果実連をはじめ7団体が協賛しています。今回はデコポン、あまくさ晩柑など55点が出品されました。

審査の結果、JAあまくさ管内からは4名が金賞・5名が銀賞を獲得されました。受賞された皆さん、おめでとうございます!

賞	お名前	地区	出品物
金賞	笹原 薫	有明町	露地デコポン
金賞	柴田むつ子	有明町	露地デコポン
金賞	渡辺 吉雄	有明町	あまくさ晩柑
金賞	笹原 薫	有明町	その他中晩柑
銀賞	山本千恵子	河浦町	露地デコポン
銀賞	西橋喜美代	有明町	露地デコポン
銀賞	中村 笑美	有明町	あまくさ晩柑
銀賞	松本 洋右	有明町	その他中晩柑
銀賞	釜元 茂	深海町	その他中晩柑

## タマネギ出荷順調です!

JAあまくさ直販部会大矢野支部直販部会は1月下旬からたまねぎ出荷がスタートしました。部会員16戸で663<sup>㍓</sup>の作付けで3月にピークを迎えます。

播種時期の8月以降が高温と乾燥で生育が遅れたが2月中旬から適度の雨量で生育順調に収穫が進んでいます。部会長の明石秀和さんは「定食時は雨が少なく心配したが無事に収穫を迎え安心している」と話しています。

4月の第2週目まで約19000ケース箱(190,000<sup>㍓</sup>)の出荷を予定しています。

